

10/11(水)～13(金)の行事



報道発表資料の配付日時 10月2日(月)10:00

発表項目 (行事名)	令和5年度(2023年度)「高大連携による『Hokkaido Study Abroad Program』」について		
記者レクのお知らせ	発表者		
	発表場所		
概要	<p>○ 北海道教育委員会では、平成30年度から、高大連携による「Hokkaido Study Abroad Program」事業を実施しています。</p> <p>○ 本事業は、高校生の異文化理解や留学・海外大学への進学意欲の高揚を図るとともに、留学生の北海道に対する理解の増進を図り、母国と北海道における友好の架け橋になることを期待して取り組んでいるものです。</p> <p>○ 本事業は、①「留学生の道立高校等への派遣」と②「高校生の大学への派遣」の2本立ての構成となっています。</p> <p>○このうち、②の事業を次のとおり実施するので、お知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 主催 北海道教育委員会、国立大学法人北海道大学 2 参加者 道立高校等20校から第1、2学年の生徒36名 3 日程 令和5年(2023年)10月11日(水)～13日(金) 4 会場 北海道大学(学術交流会館)</p> <p>※詳細は、別紙開催要項及び別紙1日程(案)のとおり</p>		
参考	<p>・上記①の「留学生の道立高校等への派遣」事業は、9月に実施済(北大留学生を派遣)</p> <p>・上記②の「高校生の大学へ派遣」事業は、北海学園大学において6月に実施済</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>・取材いただける場合は、北海道大学に報告し、事前に登録する必要がある<u>ので、10月6日(金)までに下記担当あて連絡いただきたくお願いします。</u></p>		
担当(連絡先)	教育庁学校教育局高校課国際交流係 指導主事 土居 早苗 TEL ダイヤルイン 011-206-6078 内線35-724		

**令和5年度（2023年度）高大連携による「Hokkaido Study Abroad Program」
道立学校等の生徒の北海道大学への派遣・交流事業 開催要項**

1 目的

道立高校等の生徒を留学生の在籍する道内大学に派遣し、留学生との英語による交流や、大学の講義の受講、研究室訪問等を通して、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上及び派遣先大学についての理解の深化を図るとともに、国際的な視野を育み、海外と積極的に交流しようとする意欲の向上を図る。

2 実施主体

北海道教育委員会 国立大学法人北海道大学

3 日時

令和5年（2023年）10月11日（水） 13：30～17：00

10月12日（木） 9：00～17：00

10月13日（金） 9：00～12：00

4 場所

北海道大学構内 学術交流会館（札幌市北区北8条西5丁目8-1）

5 参加対象

道立高等学校の第1学年または第2学年（道立中等教育学校にあつては第4学年または第5学年）に在籍する生徒36名

6 日程及び内容

・10月11日（水）

		13:00	13:30	13:50	14:30	16:00	16:45	17:00
	受付	開会式 オリエンテーション	ワークショップ 1	ワークショップ 2	留学体験 1	リフレクション		

・10月12日（木）

8:45	9:00	10:40	11:30	12:00	13:00	14:00	16:00	16:45	17:00
受付	キャンパス ツアー	米国領事館 ワークショップ	プレゼン 活動1	昼 食	留学体験 2	留学生 との交流	プレゼンテーション 活動2	リフレクション	

・10月13日（金）

8:45	9:00	10:00	11:05	11:50	12:00	
受付	プレゼン テーション 活動3	大学の 講義体験	スピーチ 活動	閉会式		

7 その他

参加申込書において、宿泊予定を「有」、「道教委が手配した宿に宿泊する」とした参加者は、事業実施期間中、運営者とともに次の施設に宿泊する。

- (1) 日程 10月11日（水）～13日（金） 2泊3日
- (2) 施設名 ビジネスインノルテⅡ（札幌市北区北10条西4丁目1-22 Tel1 011-707-0066）
- (3) 部屋 禁煙シングルルーム、パン・コーヒー・サラダ等の軽朝食無料サービス付き
- (4) 宿泊料金 10,000円（2泊3日）
- (5) 前後泊 必要な場合の手配は参加者が各自で手配する。（費用等は参加者の負担）

令和5年度(2023年度)「高大連携による『Hokkaido Study Abroad Program』」
道立高校等の生徒の道内大学への派遣・交流事業 日程(案)

※内容は調整中であり、変更になる場合があります。

令和5年10月2日現在

【北海道大学】

日程	時間	内容	備考
1日目 10/11 (水)	13:00～	受付	受付場所:第一会議室入口前
	13:30-13:45	15分 開会式、オリエンテーション	
	13:50-14:30	40分 ワークショップ1 Self Introduction (自己紹介)	グループ内で自己紹介を行います。事前課題として、スライドを準備しておいてください。
	14:30-15:50	80分 ワークショップ2 講師:北海道函館中部高等学校 教諭 木村 圭祐	英語力向上を目的としたワークショップです。グループのメンバーと話し合う場面が多くあります。
	16:00-16:45	45分 留学経験等の講演1 講師:ほっかいどう未来チャレンジ基金3期生 海辺 菜々美 氏 (北海道エアポート(株))	アメリカ・カナダへの留学の経験についてお話ししてもらいます。講演終了後は、各グループから助言者に質問します。
	16:45-17:00	15分 リフレクション	1日を振り返り、英語でまとめます。
2日目 10/12 (木)	8:45～	受付	
	9:00-10:30	90分 北海道大学キャンパスツアー	北海道大学の留学生とキャンパスを散策します。英語で「質問する」「提案する」場面があります。
	10:40-11:30	50分 ワークショップ3 Beyond Borders, Beyond Study Abroad 講師:在札幌米国総領事館 広報文化交流補佐官 牛丸 由恵 氏	日本の外へ出ること(留学)がどういうことなのか、また留学後に待ち受けることについてお話していただきます。
	11:40-12:00	20分 プレゼンテーション活動1	キャンパスツアーで学んだことや考えたことをグループ内で発表し合います。
	12:00-13:00	60分 昼食(大学構内の食堂等、各自持参)	
	13:00-13:50	50分 留学経験等の講演2 講師:北海道大学大学院工学院 中野 佑美 氏	留学経験がある北海道大学在学学生による講演です。講演終了後は、各グループから講師に質問します。
	14:00-15:45	105分 留学生によるプレゼンテーション及び交流 「留学生と話そう！」	留学生による研究内容のプレゼンテーションです。
	16:00-16:45	45分 プレゼンテーション活動2	1日目のワークショップ2の内容を踏まえ、ディスカッションやプレゼンテーションを行います。
	16:45-17:00	15分 リフレクション	1日を振り返り、英語でまとめます。
3日目 10/13 (金)	8:45～	受付	
	9:00-9:45	45分 プレゼンテーション活動3	1日目のワークショップ2の内容を踏まえ、ディスカッションやプレゼンテーションを行います。
	10:00-11:00	60分 大学の講義体験 「Cutting Edge Technology of Origami Engineer」 講師:北海道大学大学院教育推進機構教育プログラム推進部 准教授 繁富 香織 氏	北海道大学の講義を体験します。
	11:05-11:50	45分 参加者によるスピーチ	3日間を振り返り、参加者全員が1人1分程度スピーチを行います。
	11:50-12:00	10分 閉会式・記念撮影	

※プログラムは、英語で行うことを基本とします。

高大連携による「Hokkaido Study Abroad Program」実施要綱

(令和3年4月22日高校配置担当局長決定)

(令和5年4月25日一部改正)

1 趣旨

国際交流に興味・関心を持つとともに、大学等に進学し学術研究に意欲的に取り組もうとする北海道教育委員会の所管する高等学校及び中等教育学校（以下「道立高校等」という。）の生徒に対し、道内大学の留学生との相互交流や、道内大学での講義等の受講の機会を創出することにより、国際理解の促進と進学意欲の向上を図り、もって、将来における本道のグローバル人材の育成に資する。

2 実施主体

北海道教育委員会が、道内大学と連携して実施する。

3 事業内容

(1) 留学生の道立高校等への派遣・交流事業

ア 目的

道内大学の留学生を道立高校等に派遣し、授業のピアサポートや部活動への参加、母国の紹介などを通して、生徒の英語力の向上や国際理解の増進に貢献するとともに、道立高校等の教育活動に対する留学生の理解を深め、もって母国と北海道との一層の交流促進に努める。

イ 実施期間

移動も含め3日間以内とし、北海道教育委員会と道内大学とが協議の上、決定する。

ウ 実施場所

原則として、道立高校等において行う。

留学生の派遣を受ける道立高校等（以下「実施校」という。）は、毎年度、予算の範囲内で北海道教育委員会が定めるものとする。

エ プログラムの内容

次の事項を含むものとし、具体的内容については、実施校が企画し、北海道教育委員会及び道内大学との協議を経て、決定する。

- (ア) 英語を中心とする授業における学習サポート（質問対応、ティームティーチング等）
- (イ) 授業への参加（和食の調理（家庭科）や柔道・剣道（保健体育）など、日本文化への理解を深める授業）
- (ウ) ホームルーム活動における母国や研究内容の紹介等
- (エ) 部活動への参加
- (オ) 道立高校等の生徒による英語での地域案内など地域理解を深める活動
- (カ) その他、留学生との交流を深め、国際理解の推進に資する取組

オ 参加対象

道内大学に在籍する留学生とする。

募集人数は、毎年度、予算の範囲内で北海道教育委員会が定めるものとし、応募多数の場合は、北海道教育委員会と道内大学とにおいて選考又は抽選を行い、参加者を決定する。

カ 参加費用等

- (ア) 北海道教育委員会は、留学生に対し、北海道職員等の旅費に関する条例（昭和28年1月10日北海道条例第38号）の規定に基づき旅費を支給するとともに、予算の範囲内で参加奨励費を支給する。

(イ) 北海道教育委員会は、留学生の派遣に係る災害傷害保険料を負担する。補償の範囲は、北海道教育委員会と道内大学が協議の上、決定する。

キ 事前研修会

北海道教育委員会は、道内大学から道立高校等へ派遣される留学生を対象に、必要な知識の修得など、学校における交流活動を円滑に実施することを目的として、対面又はオンラインで事前研修会を行うものとする。

(2) 道立高校等の生徒の道内大学への派遣・交流事業

ア 目的

道立高校等の生徒を留学生の在籍する道内大学に派遣し、留学生との英語による交流や、大学の講義の受講、研究室訪問等を通して、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上及び派遣先大学についての理解の深化を図るとともに、国際的な視野を育み、海外と積極的に交流しようとする意欲の向上を図る。

イ 実施期間

連続する3日間以内とし、北海道教育委員会と道内大学とが協議の上、決定する。

ウ 実施場所

原則として、道内大学構内及び大学近隣の教育関係施設等において行う。

エ プログラムの内容

次の事項を含むものとし、具体的内容については、北海道教育委員会と道内大学とが協議の上、決定する。

(ア) 留学生との交流（母国や研究内容の紹介、グループワーク等）

(イ) 留学生が受講している授業への参加又は見学

(ウ) 大学の紹介（研究実績、国際交流の状況、キャンパスツアー等）

(エ) その他、留学生との交流を深め、大学進学意欲等の向上に資する取組

オ 参加対象

道立高等学校の第1学年又は第2学年（道立中等教育学校にあつては第4学年又は第5学年）に在学中の生徒とする。ただし、実施日が年度初期となる場合その他特別の事情がある場合は、別に定めるところにより、道立高等学校の第3学年（道立中等教育学校にあつては第6学年）に在学中の生徒も対象とすることができる。

募集人数は、毎年度、予算の範囲内で北海道教育委員会が定めるものとし、応募多数の場合は、選考又は抽選により参加者を決定する。

カ 参加費用

北海道教育委員会は、生徒の保護者に対し、予算の範囲内で参加奨励費を支給する。

キ 講師等への謝金等

プログラムの実施に関し、実施大学の教員や学生等、講師や運営協力者に対して、予算の範囲内で謝礼を支給する。

4 その他

この要綱で定めるもののほか、本事業の推進に必要な事項については、北海道教育委員会と道内大学とが協議の上、高校教育課長が別に定める。

附 則

この要綱は、決定の日（令和3年4月22日）から施行する。

附 則

この要綱の一部改正は、決定の日（令和5年4月25日）から施行する。

高大連携による「Hokkaido Study Abroad Program」

グローバル化への対応に向けた課題

- 新型コロナ収束後の人的往来の再開やビデオ会議システム等の普及に伴うオンラインによるコミュニケーションの機会の増加に向けて、高い語学力等を有するグローバル人材や本道の国際交流を牽引する若きグローバル・リーダーの育成が重要

海外留学等の現状（道内公立高校）

- 海外留学経験者数（短期＋長期）は576名、全体の0.64%
[全国1.00%] (H29)
- 海外修学旅行を実施した学校は8校、参加者数は1,087名
[全国179,910名] (H29)
- 留学者が少ない主な要因は、言葉の壁、経済的な負担など

大学と連携・協力し、道内における擬似留学の機会を提供

- 道立高校等と道内大学とのマッチングを行い、高校生と留学生による相互の擬似留学を実施

【高校生の活動】

- ◆ 留学生との交流
(例: 留学生とのキャンパスツアー)
- ◆ 英語力向上のためのワークショップ
- ◆ 大学の特別講義等への参加
- ◆ 留学生の研究室への訪問など

高校生派遣

Hokkaido
Study abroad
Program

留学生派遣

High School



【留学生の活動】

- ◆ 外国語科目等での授業サポート
- ◆ 高校生との交流、部活動への参加
- ◆ 母国紹介など



University / College

渡航せずとも気軽に参加できる国際交流機会の提供 ⇒ 将来のグローバル人材の更なる育成・拡大

Hokkaido Study Abroad Program

2022

1 道立高等学校の生徒の大学への派遣事業

【期 間】令和4年（2022年）10月12日～14日

【会 場】北海道大学構内

【参加人数】24名（応募者数59名）

【応募校】18校（滝川、札幌北、札幌月寒、札幌啓成、札幌厚別、千歳、小樽潮陵、室蘭栄、登別明日、浦河、函館西、七飯、士別翔雲、北見柏陽、網走南ヶ丘、遠軽、帯広柏葉、足寄）

【内 容】キャンパスツアー、留学経験者による体験談、大学の講義体験、ワークショップ、留学生との交流など

【参加した高校生の声】

- 自分の将来への視野がとても広がり、また、英語を学習する上でとても大切なことを学ぶことができました。
- 日常からは考えられないほど英語を話す機会がありました。特にプレゼンテーション活動が本当に楽しかったです。
- 留学生が研究していることについて、たくさん話してくれてとても勉強になりました。
- 最初は失敗することを恐れていましたが、必死に伝えようとする気持ちが一番大切なんだと学びました。



2 留学生の道立高等学校への派遣事業

【期 間】令和4年（2022年）9月5日～30日（最大3日間）

【実施方法】対面又はオンライン

【参加人数】北海道大学留学生延べ31名

【受入高校】23校（滝川、札幌北、札幌東、札幌国際情報、札幌英藍、札幌丘珠、千歳、苫小牧南、登別明日、浦河、上ノ国、旭川永嶺、士別翔雲、羽幌、稚内、常呂、遠軽、津別、雄武、池田、鹿追、釧路明輝、釧路江南）

【参加した留学生の声】

- プログラムに参加したことで、日本の高校生の考えおよび生き方についてとても勉強になりました。
- 英語と日本語でコミュニケーションをとって楽しい時間を過ごすことができました。生徒達と出会えたことをとても嬉しく思います。
- プレゼンする際の学生達の態度がとても良く、また、生徒に歓迎してもらえて嬉しかったです。

【受け入れた高校の声】

- 外国語を用いたコミュニケーションや、大学で行われている研究に興味を示す生徒が多数見られ、このプログラムの効果を実感しました。